

(様式F)

令和8年5月

関係団体各位

鹿児島市廃棄物指導課長

(公印省略)

産業廃棄物処理計画書及び管理票交付等状況報告書の提出について(お願い)

かねてより、本市の産業廃棄物行政の推進につきましては、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。  
このたびは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「法」という。)の規定により鹿児島市へ提出することが義務付けられている標記の書類について、貴団体の会員である方へご周知いただきたく様式等を送付いたします。

つきましては、ご多忙の折り、誠に恐縮には存じますが、貴会員の皆様方への周知方について、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 書類及びその対象者

##### (1) 産業廃棄物処理計画書(法第12条第9項、第12条の2第10項)

令和7年度中に本市内において、産業廃棄物が1,000t以上(特別管理産業廃棄物にあっては、50t以上)発生した事業場を設置している事業者

※当該処理計画書は、法に基づき、鹿児島市ホームページで公表します。

##### (2) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付等状況報告書(法第12条の3第7項)

令和7年度中に本市内において、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を生じた事業者(中間処理業者を含む。)で、紙面の産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付した者

※事業場ごとに報告書を作成すること。(電子マニフェスト利用分は除く)

#### 2. 提出様式

別紙のとおり(同封している様式は紙面提出用のものです。)

※鹿児島市ホームページに様式や記入例を掲載しておりますので、該当する様式をダウンロードし作成の上、ご提出ください。詳しくは別紙「★様式ダウンロードのご案内」をご参照ください。

※産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付等状況報告書は、電子申請システムでご提出できます。

#### 3. 提出期限

令和8年6月30日(期日厳守にてお願いいたします)

#### 4. 提出及び問い合わせ先

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

鹿児島市 廃棄物指導課 (みなと大通り別館 4階)

TEL: 099-216-1289 FAX: 099-216-1292

メールアドレス: sanpai-hou@city.kagoshima.lg.jp



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
鹿児島市長 殿	
提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	
事業場の所在地	
計画期間	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

**産業廃棄物処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください**  
(お願い:2種類までは計画書に記載することができますが、累計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

別添内訳書

数字 (t)										
	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン	紙くず	汚泥	建設混合廃棄物(※)	廃油	合計
<b>廃棄物の排出の抑制に関する事項</b>										
①現状(前年度実績) 排出量【A】										0
②計画(今年度目標) 排出量【B】										0
<b>自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</b>										
①現状(前年度実績) 自ら再生利用を行った量【C】										0
②計画(今年度目標) 自ら再生利用を行う量【D】										0
<b>自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</b>										
①現状(前年度実績) 自ら熱回収を行った量【E】										0
②計画(今年度目標) 自ら熱回収を行った量【G】										0
③現状(今年度目標) 自ら中間処理により減量する量【H】										0
<b>自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項</b>										
①現状(前年度実績) 自ら埋立処分を行った量【I】										0
②計画(今年度目標) 自ら埋立処分を行う量【J】										0
<b>産業廃棄物の処理の委託に関する事項</b>										
①現状(前年度実績) 全処理委託量【K】										0
②計画(今年度目標) 全処理委託量【P】										0
内訳	優良認定処理業者へ処理を委託した量【L】									0
	再生処理業者へ処理を委託した量【M】									0
	内訳 認定熱回収業者へ処理を委託した量【N】									0
	内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【O】									0
	優良認定処理業者へ処理を委託する量【O】									0
	再生処理業者へ委託する量【R】									0
	内訳 認定熱回収業者へ処理を委託する量【S】									0
	内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【T】									0

※ガラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラ・コンの項目です)  
 ※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。



産業廃棄物管理票交付等状況報告書（年度）

年 月 日

鹿児島市長

報告者  
住所  
氏名  
(法人にあっては名称及び代表者の氏名)  
電話番号

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称		業 種		電話番号				
事業場の所在地								
番号	産業廃棄物の種類	排出量 (t)	管理票の 交付枚数	運搬受託者 の許可番号	運搬受託者の 氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の 氏名又は名称	処分場所の住所
1								
2								
3								
4								

備考

- この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。
- 同一の都道府県（政令市）の区域に、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめたとて提出すること。
- 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。
- 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。
- 運搬又は処分を委託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載するとともに、各事項について石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等に係るものを明らかにすること。
- 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。
- 区間を区切って運搬を委託した場合は再委託が行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。

